

2020年度第2回統計数理研究所共同研究集会「世界メッシュコード研究会」

(2020-ISMCRP-5010)

開催要旨

世界メッシュコードおよび世界メッシュ統計を用いた応用、利活用法の開発、関連分野紹介、応用と利活用事例の発掘とそれにかかわる議論を行うために研究集会を開催する。メッシュ統計作成を可能とする位置情報付き源データ、メッシュ統計データプロダクトの紹介、メッシュ統計を他データとともに利用した利活用事例、メッシュ統計の品質評価方法、データ分析方法を取り扱う。その他、現在はメッシュ統計やデータ利活用とは直接的に関係していないが利活用に関心を持つ現場におけるニーズを広く集めるため、企業や行政における活動紹介の発表も想定する。更に、主たる講演をインプットとしてデザインワークショップを後半に併催することにより、発表を行わない参加者も同様に世界メッシュ統計に対する知見を深められるように配慮し、聴講以外のインタラクティブな手段により世界メッシュ統計に関する学習を可能とする機会とネットワーキングの場を提供する。

開催日：2021年3月15日(月)10:00～12:00
2021年3月16日(火)10:00～12:00
2021年3月17日(水)13:30～15:30

場所：オンライン（Zoomリンクは参加申し込みいただいた方にメールで送付します）
申込方法：専用フォームに必要事項を記入 <https://www.fttsus.jp/jstmirai/events/>
（締切 2021年3月5日18時）

協賛：

- ・ 科学技術振興機構未来社会創造事業 超スマート社会の実現領域【異分野共創型のAI・シミュレーション技術を駆使した健全な社会の構築】「自律分散的世界メッシュ統計基盤アーキテクチャの設計と実証」(研究代表者：佐藤彰洋; 2020 JPMJMI20B6)
- ・ 一般社団法人世界メッシュ研究所



《プログラム》

・セッション 1(2021 年 3 月 15 日(月)10:00~12:00) (ZOOM)

座長: 椿広計(統計数理研究所)

10:00-10:05 開会の挨拶 椿広計(統計数理研究所)、佐藤彰洋(横浜市立大学データサイエンス学部)

(1) 10:05-10:30 佐藤 彰洋(横浜市立大学データサイエンス研究科)

講演題目: 「自律分散の世界メッシュ統計基盤アーキテクチャの設計と実証」

概要: 経済社会環境システムの状況理解と説明、将来予想と観測不可能な社会経済的変数の推定、並びに意思決定の自動化を可能とする統合的なメッシュ統計基盤のあるべきアーキテクチャを明らかにする研究開発計画を提案する。更に、このアーキテクチャを用いたデータ利活用の持続可能な実装系の試案を示すとともに、実証実験を通じて社会活動の継続可能性や効率性を高められる事例の候補を列挙する。

(2) 10:30-11:00 石田 中(宇宙航空研究開発機構 JAXA)

講演題目: 「地球観測衛星データを用いたSDG15.4.2「山地植生被覆指数」の試算について」

概要: 衛星データ及び全球データセットによるSDG指標の算出について、現状と課題等について報告する。

(3) 11:00-11:30 西脇 毅(国立大学法人大分大学 産学官連携推進機構)

講演題目: 「森林の多面的機能について MESHSTATS を用いた事例研究」

概要: 森林は、水源の涵養、国土の保全、地球温暖化の防止など公益的側面を有している。一方で公益的な側面だけでは、地域経済が疲弊していくことがわかっており木材生産の高付加価値化のほか、ワーケーションやグリーンツーリズムのような事業を進めることが必要である。本研究では MESHSTATS を用いた森林の多面的機能について大分県での検証を行う。

(4) 11:30-12:00 鈿持 祐介(一般社団法人世界メッシュ研究・Special Operation Design 株式会社)

講演題目: 「デジタルツールを利用したリモート参加型ワークショップの可能性」

概要: デジタルデザインワークショップの形式や事例を紹介し、開催時のノウハウや注意点、実施してみたの気づきや改善目標を論ずる。また、デジタル型であるゆえのメリットデメリットについても実践の場からのフィードバックを示し、今後のワークショップにメッシュスタツツを組み込んでいく可能性について論ずる。

・セッション 2(2021 年 3 月 16 日(火)10:00~12:00) (ZOOM)

座長: 佐藤彰洋(横浜市立大学データサイエンス学部)

(5) 10:00-10:30 常泉 和巳(株式会社丸紅)

講演題目: 「観光 EC サイト『大井川物産店』」

概要: 静岡県大井川流域の観光を紹介する「大井川で逢いましょう」をデジタル体験できる EC サイト「大井川物産店」を構築運営しています。このサイト構築の考え方、その活動内容について

お話しします。

(6) 10:30-11:00 眞木 和俊(株式会社ジェネックスパートナーズ)

講演題目:「世界メッシュ統計の利活用を進める際のビジネス上の留意点」

概要: 世界メッシュ統計のプラットフォームを基盤としたビジネスモデルを考える上では、その市場構造、新サービスの開発プロセス、ビジネスのエコシステムモデルに十分留意する必要がある。これらに関する実務的観点からの考察、討議を行う。

11:00-12:00 デジタルデザインワークショップ 全体ファシリテーション 菅波紀宏(株式会社丹青社)

世界メッシュ統計利活用のためのアイデーションを行います。

MESHSTATS に将来欲しい機能・使い方について意見交換を行いながらアイデアを可視化・分類します。MESHSTATS は全世界メッシュ統計データ利活用基盤です。ユーザーアカウントを作成して頂くことで最小機能は無償利用することができます。

・セッション 3(2021 年 3 月 17 日(水)13:30~15:30) (ZOOM)

座長: 劔持祐介(一般社団法人世界メッシュ研究所・Special Operation Design 株式会社)

13:30-14:30 デジタルデザインワークショップ 全体ファシリテーション: 劔持祐介(一般社団法人世界メッシュ研究所・Special Operation Design 株式会社)

デジタルホワイトボード MURAL と ZOOM を使用したリモート参加型のワークショップを体験いただきます。MURAL に触れていただきながら「メッシュスタツツに将来欲しい機能」について、デザイン思考ツールを使用してアイデア創出にチャレンジしていただきます。

休憩

14:35-14:55 佐藤彰洋 (横浜市立大学データサイエンス学部)

講演題目:「次年度の研究会活動計画」

概要: 次年度の世界メッシュコード研究会の活動計画についてお話しします。

14:55-15:00

閉会の挨拶 椿広計(統計数理研究所)、佐藤彰洋(横浜市立大学データサイエンス学部)

15:00-15:30 ラップアップ(交流会)

Zoom ブレイクアウトルームを複数作成し、少人数で自由に会話や連絡先交換ができる機会を作ります。電子名刺ファイルまたは、自己紹介スライドご準備頂きましてご参加ください。

※尚、プログラムは講演の状況により変更の可能性がございます。

お問い合わせ先:

佐藤彰洋 横浜市立大データサイエンス学部教授

連絡先 ahsato@yokohama-cu.ac.jp, office@ftsus.jp